

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：舞鶴市

プロジェクト名	「時代に合った地域をつくり安心な暮らしを守る」プロジェクト	実施期間	平成28～30年度	テーマ	安心・安全	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本市の人口は平成27年（国勢調査）で約84,000人となっており、5年間で約4,000人が減少している状況にある。また、世帯数の減少は約800世帯に留まるなど、核家族化が急速に進行している。</p> <p>さらに、夫婦共働きの進行、未婚率の上昇、高齢者だけの世帯の増加など、ライフスタイルの多様化により社会を取り巻く環境が変わる中で、自動機能が脆弱化し、孤立化・孤独化するケースが生じている。</p> <p>地域コミュニティ、行政、NPO等がそれぞれの役割を担い、支え合う仕組みの構築が急務となっており、市民一人一人が文化的・健康的な生活を送ることができるよう環境づくりが必要となっている。</p> <p>また、安心・安全に生活を送れることは、住みよい地域社会づくりを進める上で基本となるものであり、昨今の地震・台風等による自然災害を始め、原子力発電所に隣接する本市にとってはハード・ソフト両面から市民不安を解消するとともに、自助・共助の重要性を理解していただくことが喫緊の課題となっている。</p> <p>災害対策以外にも、少子高齢化やライフスタイルの変化等により、交通・医療などの基本的な生活基盤を維持・確保することが困難となっている。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>「交流人口300万人・経済人口10万人」都市・舞鶴の実現に向け、交流人口の拡大とともに取り組まなければならないのが、定住人口の減少抑制である。そのために医療・健康・防災・自然環境など様々な観点から、時代に合った地域づくりにハード・ソフト両面から取り組むことで、住民の利便性を向上させるとともに、安心な暮らしを提供することが必要である。</p> <p>本プロジェクトは、定住環境向上への取組を軸に、都会並みの質の高い地域医療の確保とスマートウェルネスシティの形成、自助・共助による地域コミュニティづくり、危機対応力の強化と強い都市基盤づくり、環境都市創造への取組を展開し、人口減少社会における持続可能な地方都市を目指し実施するものである。</p>						
	総事業費（千円）	534,129	本年度事業費（千円）	178,043	交付金額（千円）	16,870	

プロジェクトを構成する事業の平成28年度事業実績（出来高数値等）

事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）	
市町村実施事業	定住環境向上事業	交付対象事業	加佐地区農業農村活性化戦略事業、北陸新幹線誘致PR活動の実施、高齢者外出支援事業、水ヶ浦地域の水道水源を整備する飲料水供給事業	加佐地域農業農村活性化センター、加佐地域大庄屋上野家の管理・運営 ・移住相談、空き家見学・案内等 移住ワンストップ窓口 ・農業農村体験イベント、体験ビジネスモデル事業の実施（10回） ・アート等の蔵展及び体験教室（14回） ・地域イベント等での施設活用 北陸新幹線京都府北部ルート誘致に向けた決起大会の開催、要望活動の実施、誘致PRグッズの作成	
	スマートウェルネスシティ事業	交付対象事業	休日救急輪番制事業、「選択と集中、分担と連携」の推進、がん検診を無料で受診できるクーポン券を発行して受診率を向上させるがん検診無料クーポン事業、地域づくりサロン活動推進事業、明るいまちづくり事業、ウェアラブル端末の活用やグループ支援による運動継続の効果等についての研究及び研究結果を検証する健康づくり推進事業	◆市内公的3病院による休日救急診療を輪番制で実施 ・診療科：内科、外科、小児科、時間：休日の午前8時30分～翌日の午前8時30分、実施日数：72日（年末年始含む）、患者数：5,690人（1日平均79人） ◆「選択と集中、分担と連携」の推進事業 市内の公的病院が有する特色ある診療機能の充実を図るため、平成28年度においては、舞鶴医療センターの脳疾患センターに係る高度医療機器（MRI、ガンカメラ、血管連続撮影装置、高度放射線治療装置、CT320列）の整備事業に対し支援。（※公的病院の利用を可能とする） ◆明るいまちづくり事業費補助金（7件） ◆がん検診無料クーポン事業 乳がん：クーポン発送1,398人 受診者数385人（受診率27.5%） 大腸がん：クーポン発送2,935人 受診者数325人（受診率11.1%） ◆健康づくり推進事業 40代の男性28名と女性25名（合計53名）を被験者として、ウェアラブル活動量計を用いて活動量が上がるかどうか検証。 実験前と実験後では、1人1日平均で男性1,723歩（18%）、女性1,034歩（12%）それぞれ歩数が増加。実験前後の体力測定では全身持久力の向上も見られた。	
	強い都市基盤整備事業	交付対象事業	地域の生活道路の除雪の際に地域に貸し出す小型除雪機の導入、土砂災害、洪水ハザードマップの作成、地域防災計画の印刷を含む計画の見直しの委託業務、西市街地（浸水エリア）において宅地嵩上げに要する費用の一部を助成する西地区浸水対策事業	・小型除雪機の新規導入4台 ・舞鶴市地域防災計画「震災対策編」「原子力災害対策編」の改正（平成29年3月17日改正） ・舞鶴市原子力災害住民避難計画【概要版】の作成（全18種類） ・洪水ハザードマップ（東西市街地）3,000部増刷	
	京都丹後鉄道駅関連施設整備事業	関連事業	老朽化している京都丹後鉄道「東雲駅」及び「丹後神崎駅」の駅舎について、乗客が快適に利用できるよう屋根等の改修工事を行う	東雲駅：屋根の一部張り替え、浄化槽の設置、多目的便所（洋式）の設置など 丹後神崎駅：外壁塗装、天井一部張り替え、待合室の壁・建具の改修など	
	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業（再掲）	関連事業	舞鶴版地方創生「交流人口300万人、経済人口10万人」都市・舞鶴の実現に向け、立地適正化計画や新たな都市計画制度の策定により心豊かに暮らせるまちづくりに取り組んでいるところであるが、この流れを確かなものとするため、移住促進等の充実を図るとともに、住民が自然と歩いてしまう健康まちづくりなど、“舞鶴市みらい戦略推進会議”とともに戦略的に推進する。	移住の促進にあたっては、京都府北部5市2町で合同就職面接会を実施したり、北部地域でのライフスタイル紹介冊子・映像を作成し、首都圏において、地方への移住に関心のある方2万人を対象にPRを実施した。また、健康まちづくりにおいては、市民の健康および体力の実態を明らかにするとともに、運動習慣のない市民を対象にウェアラブル端末を利用した支援が生活活動量の増大に有効かどうかを舞鶴高専とともに検証した。	
住民協働事業	地域コミュニティづくり事業	交付対象事業	ボランティアコーディネーター設置事業、元氣なまちづくり事業	地域集会所建設等事業費補助金（新築分）（0件） 元氣なまちづくり事業費補助金（1件）	
	環境都市創造事業	交付対象事業	中小企業環境対策設備導入補助、環境マネジメントシステムの普及 電気自動車・電力供給設備導入支援（市民）、クリーンキャンペーン実行委員会補助、舞鶴の川と海を美しくする会事業費補助、不法投棄防止パトロールの委託に係る経費	中小企業環境対策設備導入補助（5件）、電気自動車導入支援補助金（8件）、中小企業者の環境マネジメントシステム認証取得に対する補助（1件） 全市一斉清掃（クリーンキャンペーン） 7月3日 参加人数 74組 3,595人 ごみ回収量 約24t 美化強調月間の清掃（舞鶴の川と海を美しくする会） 春季 参加人数 約9,400人 秋季 参加人数 約5,300人 不法投棄パトロール（6コース述べ620回）	
住民が取り組む事業					
成果指標①	成果指標の目標数値	緊急車両等の進入できない地域の解消		成果指標の実績値 （29年3月31日時点）	残り2地区
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	平成30年度中に全て解消する見通しである。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：舞鶴市

成果指標②	成果指標の目標数値	中心市街地への民間都市機能誘致数(2件)		成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	0件(平成28年度)
	成果指標の達成状況	—	(左の理由)	旧市立舞鶴市民病院跡地活用について、平成28年度にサウンディング型市場調査を実施し、民間活力を導入するため、公募条件の整理等の検討を進めている。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標③	成果指標の目標数値	田舎体験事業への参加者数(200人)		成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	202人
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	ホームページやメール配信を活用した周知により体験参加者を確保できた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標④	成果指標の目標数値	公共交通の利用者数(196万人)		成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	198万人(平成28年度)
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	交通事業者と連携した利用促進策の実施等により、目標数値を達成した。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標⑤	成果指標の目標数値	外出支援事業乗車票購入者数(880人)		成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	645人(バス446名、京都丹後鉄道11名、タクシー188名)
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	前年度実績(631名)から、微増にとどまった。引き続き、制度の周知に努めていきたい。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標⑥	成果指標の目標数値	自主防災組織率(85%)		成果指標の実績値 (平成29年2月28日時点)	68%
	成果指標の達成状況	—	(左の理由)	平成28年度中に新たに2組織結成され、結成率が上昇した。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標⑦	成果指標の目標数値	市内事業者の環境マネジメントシステム導入件数(累計)(新規80件)		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	52件
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	事業所にシステム導入のメリットが十分に理解されていないため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標⑧	成果指標の目標数値	電気自動車(EV・PHV)の普及台数(360台)		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	100台
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	充電インフラが十分でないことやEVが相対的に高価格となっているため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標⑨	成果指標の目標数値	市制度活用による環境経営への取組事業者数(10事業所)		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	5事業所
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	環境経営のメリット等がまだ十分に理解されていないため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標⑩	成果指標の目標数値	家庭の省エネ相談などの件数(200件)		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	88件
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	大型イベントへの出店が少なかったため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	平成30年度には緊急車両等の進入できない地域がすべて解消する見通しとなり、また自主防災組織の結成率が向上するなど、28年度の本プロジェクトへの取組によりハード・ソフトの両面からの「強い都市基盤づくり」が進捗しつつある。しかしながら、環境創造都市創造事業については各成果指標を達成しているとは言えない状況である。住民の参加・協力がなくては達成し得ない事業であり、取組むメリット等への理解が得られるよう周知の徹底に努め、改善を図っていく必要がある。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	関連事業と一体となってプロジェクトを展開したことにより、京都丹後鉄道を含む公共交通の利用者数の増加、高齢者の外出手段・機会の確保につながった。			
	府と市町村等との連携に資する成果	府や関係機関との調整を行い、「舞鶴市地域防災計画(原子力災害対策編)」の改正や「舞鶴市原子力災害住民避難計画」の作成を行った。引き続き府や他市町村等と協力しながら、「暮らしの安心」実現に向けて取組んでいく。			
	住民の自治意識を高める成果	ハザードマップの配布や地域コミュニティづくりの支援により、自主防災組織の新規結成など市民の自治意識を高めることができた。			
	リーディング・モデル成果				
	広域的波及成果				
	行財政改革に資する成果				
	その他の成果	輪番制による休日の救急診療体制の確保、市内公的病院の「選択と集中・分担と連携」への支援により、平成28年度においても地域住民の医療ニーズに応えられる環境づくりに努めた。			